

栃木医療センター

No.38 2019 April

理 念
信 頼 貢 献 協 働



Contents

- 紹介（皮膚排泄ケア認定看護師） 1
- 部門紹介（薬剤部） 2
- 放射線治療 3
- アピアランスケア 4
- 部門紹介（臨床検査科・病理診断科） 5
- 連携医紹介（ひらしま胃腸・内科） 6
- ゴールデンウィーク中の外来診療について／
交通のご案内 裏表紙

独立行政法人国立病院機構

栃木医療センター 広報誌

認定看護師の活動を紹介します

分野名：皮膚排泄ケア認定看護師
褥瘡対策専従看護師 副看護師長 遠藤 富美

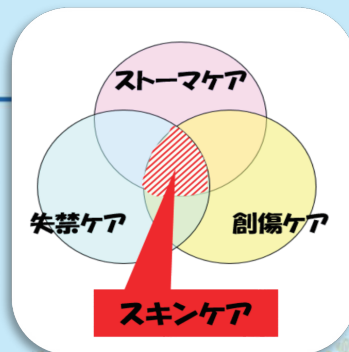


皮膚・排泄ケアとは？ WOCナースとも呼ばれます

Wound（褥瘡などの皮膚障害のケア、予防も含めて）
Ostomy（ストーマや瘻孔、PEGなどのケア）
Continence（排泄障害に対するケア）

ストーマを造設された方が快適な生活を送れるよう、個人に適した管理を指導し支援する**ストーマケア**を基盤に、ストーマ周囲皮膚に対する**スキんケア**の知識と技術を、褥瘡や慢性潰瘍のケアおよび失禁を有する患者の皮膚障害予防に活用し、WOCケアとして発展したのが皮膚・排泄ケアです。

W、O、Cの三領域に共通し基盤となるのが**スキんケア**であり、皮膚の健康が損なわれるのを予防し、障害を起こした皮膚に対してはその健康を取り戻すことをケアの目的としています。



＊自己紹介＊

私は今から17年ほど前、「根拠に基づいたストーマケアをしたい！」「看護の力で褥瘡発生を減らしたい！」という一心で認定看護師を目指しました。2001年に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得し、1年間都内の訪問看護ステーションで在宅看護を経験した後、2002年に栃木医療センターに入職致しました。2006年からは「褥瘡対策専従」のポジションに就き、「**質の高い褥瘡予防ケアを自施設看護のスタンダードにすること**」を目標に活動しております。



多職種協働による褥瘡対策チームの活動

医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士による多職種チームのリーダーとして、褥瘡診療・褥瘡予防ケアの推進、院内教育を担っております。各職種の専門性を生かした多面的で総合的なケアがチームの目標です。また**地域に開かれた褥瘡対策室**をモットーとし、退院後の患者様や在宅で困っているケアのご相談をお受け致します。

（お気軽にお問い合わせください）



ストーマケア◆術前術後指導とストーマ外来 栃木県全体に向けてケアの発展を推進

ストーマ造設手術を受けられる患者様には術前から介入し病棟看護師へ専門家としてのアドバイスをを行います。

退院後には**ストーマ外来**により長期的なサポートを行っております。

また、県内の認定看護師と協働し看護師向け、介護職向けの**ストーマ講習会**を企画・開催し、地域のストーマケアの質の向上に貢献しております。



皮膚・排泄ケアは特別なことではなく、極めて基本的な看護ケアです。

皮膚の保護、テープの貼り方・剥がし方、おむつの当て方といった基本的看護技術を**栃木医療センターで働くすべての看護師が愛情と責任と看護のプライドを持って実施できる**ようになることが私の夢です。

これからも「信頼」「貢献」「協働」という病院理念を胸に、地域に愛され地域から選ばれる病院となれるよう、看護の質を磨き続けたいと思います。

また、院外へ向けても「質の高い看護の力」を発信し、在宅療養をサポートするチーム医療の一員として貢献できればと考えております。

がん治療薬剤師外来の取り組みについて

薬剤部 医薬品情報管理主任 佐藤 公彦

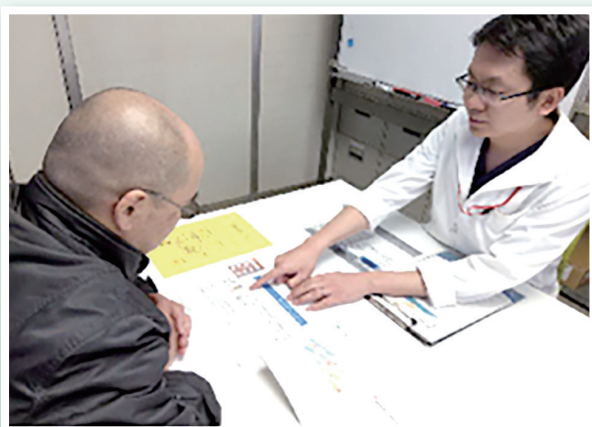
人間は食べる、排泄する、動く、寝る、の4つの行動を基本として生活していますが、がん患者さんの場合、手術や抗がん剤治療、放射線治療によって、日常生活に支障をきたすことがあります。

『がん治療薬剤師外来』は、抗がん剤による治療効果の向上だけではなく、患者さんの負担となる副作用を軽減することで、患者さんにとって安心、安全な薬物療法が実施できるよう支援することを目的とし設立しました。

医師からも抗がん剤の投与スケジュールや副作用について事前に説明がありますが、薬剤師からは、より治療について理解していただくために製薬会社が作成したパンフレット、薬剤部で作成した説明書等を使用して、投与スケジュール、予想される副作用はもちろんのこと、日常生活における副作用対策について説明を行います。また、薬剤師から一方的な説明をするだけではなく、患者さんとお話しをしていく中で、患者さんの抗がん剤治療による効果と副作用の発現状況を確認し、抗がん剤の種類の変更や減量、休薬、副作用を軽減する薬の提案等を医師に行います。

さらに『がん治療薬剤師外来』の今後の取り組みとして、抗がん剤治療における支援だけではなく、身体の痛みや精神的なつらさについての支援も必要と考えております。最近では、医療用麻薬の使用が増えていますが、服用することに強い抵抗感を抱いている患者さんもいらっしゃいます。この『がん治療薬剤師外来』においても医療用麻薬を含む痛み止めの薬について説明を行い、患者さんが納得した上で服用していただき、痛みや苦痛を緩和してほしいと考えております。

現在は、外科に外来通院されている患者さんのみを対象とさせていただいております。『がん治療薬剤師外来』の受診を希望される際は、担当医師にお気軽にご相談ください。



～放射線治療部～

身体にも心にも優しい放射線治療を

～治療に伴う不安やお悩み、なんでもご相談ください～

がん治療の三本柱のひとつ、放射線治療。当院では長年にわたり、ここ戸祭の地で放射線治療を行っております。現在、常勤の放射線治療専門医2名、非常勤医3名、治療専任放射線技師と専従看護師による体制です。放射線治療は完全に治すことから痛みをとるためまで幅広く利用されます。手術や抗癌剤が難しい方であっても適応となりえますし、多くの方が外来での治療が可能な「体にやさしい治療」です。

また頭からつま先まで、あらゆる固形がんが対象となります。当科でも脳外科・頭頸部領域から、消化器、前立腺、皮膚がんなどさまざまながんに対応します。

そのため、院内で開催されるカンサーボードや合同カンファレンス、緩和ケアチームに参加し、他の診療科や病棟、多職種間での密な連携をはかっています。

専門性の高い放射線治療を行うには他施設との連携も欠かせません。

栃木県内には大学病院など放射線治療施設が11ありますが、各施設との連携を積極的に行っています。

当科では乳房術後照射を数多く行っておりますため、乳がん術後の副作用としてしばしば問題となるリンパ浮腫診療にも力を入れています。

日常生活のケアや圧迫療法など、治療後むくみでお悩みの方へのサポートを行っています。アピアランスケア（がん治療に伴う外見の悩みへのケア）にも対応し、患者さんの抱える悩みへトータルなサポートを提供する「心にもやさしい治療」を心がけています。

4月からは放射線治療認定看護師の研修を終えたスタッフも戻り、さらに充実した体制で医療を提供できることと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

放射線治療 村上



放射線治療 外来診療体制 2019年4月現在

月	火	水	木	金
村上 安納	安納	村上 若月 (AM)	安納 江島 (AM)	村上 安納

※毎月第一金曜日 (AM) : 高橋

※初診、再診ともに完全予約制となっております



放射線治療をお受けになる方

初診窓口（1番）にて、初診受付にお越しください。

受付票をお渡ししますので、お持ちになって、そのまま放射線治療室へお進みいただきます。放射線治療室の受付にて、確認のため、名前や生年月日等をお聞きいたしますので、ご協力をお願いいたします。その後放射線治療待合室へご案内いたします。

お問い合わせ先

Tel: 028-622-5241 (代)

栃木医療センター
放射線科治療室



2018年12月14日

ありがとうございました。



A stylized illustration of a green frog with a yellow belly, perched on a brown branch. The frog is facing left and has large, dark eyes. The background is a soft, out-of-focus green and brown, suggesting a natural habitat.

起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

アピアランスケアは、医療者・企業・美容専門家など、その支援を考える立場によってその方法は異なります。ただ、がんと外見に関する情報できちんとした研究の上に証明された素晴らしい解決方法！というのは、残念ながらほとんど無いのが現状です。

今後、この研究会を通して治療や美容のプロフェッショナル、そしてがん治療中、または経験者、そして周りの理解者、みなさんの知識を合わせて色んな情報交換を行い、その人らしく生きること、社会と繋がることを考え、それぞれの現場でサポートできたらと思います。

放射線科 小村

今後の活動予定

- ・第2回栃木アピアランスケア研究会開催
- ・市民公開講座
- ・放射線治療室 勉強会
- ・患者さんのための美容勉強会 実践編（スキンケア、メイク、ウィッグ、お洋服）
- ・美容師さん向け勉強会
- ・SNSを通しての情報発信 などなど

お問合せ先：栃木医療センター放射線科
小村 ykomura@tochigi-mc.jp

臨床検査科・病理診断科のご紹介

臨床検査科・病理診断科は、病理診断科医長1名、臨床検査技師17名で生化学・免疫検査、血液検査、輸血検査、一般検査、細菌検査、生理検査、病理・細胞診検査を行っています。24時間体制で時間外の緊急検査にも対応し、迅速に精度の高いデータを提供できるよう取り組んでいます。

検査業務内容

検体検査（生化学・免疫検査、血液検査、輸血検査、一般検査）

大型の測定装置を用いてさまざまな検査を行い、採血後1時間以内での報告を目標とし迅速な病気の診断、治療の効果判定、経過観察に貢献しています。



細菌検査

菌の培養、同定、薬剤感受性試験の他にインフルエンザウイルス、ノロウイルス、O-157大腸菌などの検査を行っています。院内感染対策チームにも参加し病院の感染対策の活動も行っています。



生理検査

心電図、呼吸機能検査、超音波検査、脳波、筋電図などを行っています。特に超音波検査では心臓、腹部、頸動脈など多くの症例を検査しています。また、24時間測定可能なホルター心電図や睡眠時無呼吸検査も行っており臨床や患者さんからの要望に応えられるよう努めています。



病理・細胞診検査

病理専門医、細胞診専門医である医長1名と3名の細胞検査士で病理組織検査、細胞診検査、病理解剖を行っています。手術中の迅速病理診断では、より適切な手術を行うための判断に貢献しています。細胞診検査では複数名でのスクリーニングで精度の高い報告を行っています。



ひらしま胃腸・内科

院長 平嶋 勇人

平成30年10月4日に宇都宮市屋板町で新規開業させて頂きました、ひらしま胃腸・内科の平嶋と申します。これまでは宇都宮記念病院で、内視鏡を主軸に診療をさせて頂いておりました。宇都宮記念病院に在籍中は医療連携を担当していたこともあったため栃木医療センターさまの医療連携の迅速かつ的確な対応には、我々も見習うべき点が多いと感じていました。今後はクリニックで対応困難な方や、より高度な診療が必要な方へのご支援を頂ければと思います。

当クリニックは、消化器疾患のみならず、感冒・高血圧・糖尿病・脂質異常症などの内科疾患も診察させて頂きますが、やはり最も得意とする内視鏡検査を通じて、地域の皆様の健康に少しでも貢献出来ればと思い、内視鏡を主軸としたクリニック設計を行っております。

特色としては、より苦痛や不安を少なく検査を受けて頂けるように、検査前処置室の完備、プライベートに配慮した構造をとらせて頂きました。また、内視鏡検査は患者様にとっては、ただでさえ億劫ですので、胃カメラであれば当日絶食でお越し頂ければ、順次検査を行える環境を取りました。また、大腸内視鏡検査については、テレビ・wi-fi・専用トイレを完備した、プライベート個室を用意し、女性でも安心して検査を受けて頂ける環境を提供させて頂いております。

内視鏡検査については、院長が責任を持って、より苦痛を少なく、丁寧に、と行っているものの、どうしても不安が強い患者様や、過去に辛い思いをされた方も多く、まだまだ検査に対する抵抗感がぬぐえないのが事実だと思っています。そこで、当クリニックでは、希望があれば、鎮静剤を用いて眠ったまま検査を受けられるようにさせて頂いております。過去に辛い思いをされた方も、鎮静剤を使用し検査を受けて頂いた方からは、『こんなに楽ならもっと早く受けておけばよかった』などの声も多数頂いています。そうしたところから、検査に対する抵抗感が薄らぎ、本当に検査が必要な方の受診率が向上して頂ければと思います。その結果、早期発見が可能となり、最終的には地域の皆様の健康に寄与出来ればと思います。

開業後わずか数か月ですが、クリニックでは対応困難な疾患や、より高度な検査を必要とする場合もありましたが、信頼できる栃木医療センターさまの存在は非常に心強く感じております。今後はより一層、栃木医療センターの皆様と密に連携させて頂き、地域医療に貢献出来ればと思います。今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。



ご案内

診療科目 内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	—	○	○	○	—
14:30~18:45	○	○	—	○	○	△	—
休診 水曜・日曜・祝日 △土曜日午後 14:00~17:00 受付は診療終了の15分前までとなります							



〒321-0112 栃木県宇都宮市屋板町132-7（横川中学校南側）

TEL 028-547-7117

ゴールデンウィーク[4月27日(土)～5月6日(月)]『10連休』の外来診療体制について

通常の外来診療は休診となりますが、救急患者については地域医療への更なる貢献のため、以下の通りの診療体制となりますのでご案内いたします。

◎ 一般救急

- ・救急受付 4月27日(土)～5月6日(月)
- ・診療時間 **24時間**

◎ 眼科一次救急

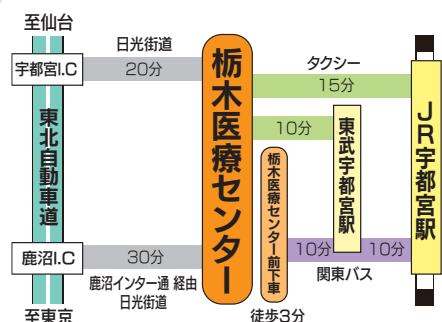
- ・救急受付 4月28日(日)～5月6日(月)
 - ・診療時間 **10:00～17:00**
- ※4月27日(土)は診療していません。



『一般救急』『眼科一次救急』の受診を希望される場合は、
まず下記の連絡先にお問い合わせください。

連絡先 **028-622-5241** (代)

交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構
栃木医療センター
院長 長谷川 親太郎

〒320-8580

栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37

TEL. 028-622-5241

FAX. 028-625-2718

URL. <http://www.tochigi-mc.jp/>

